

古川保育園を移転改築 定員も増やし100人に

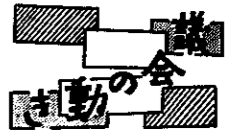
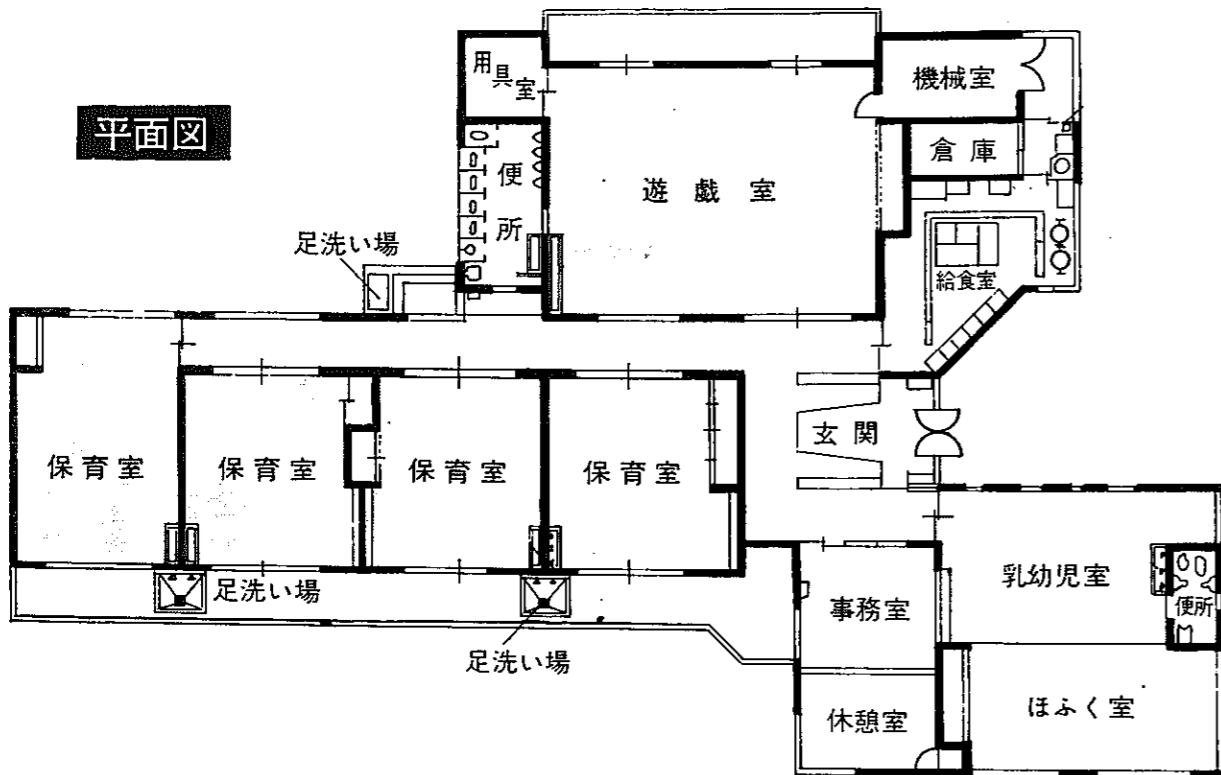
園児の安全面を考へ
建物の構造は——園児の安全面を考へ、鉄筋コンクリートの平屋建て。「明るい保育室を——」ということから部屋を南側にとり、日光がたくさんはいるように工夫しました。

また、行動がしやすいように廊下は建物の中央に設けトイレは危険度の少ない水洗に……。

冬は、これまでのストーブ暖房から、セントラルヒーティング方式の温風暖房になります。この事業にかかる工費は五千三百万円で、十二月中には完成する予定です。

古川保育園周辺は、住宅の建設がさかんで世帯数、人口それに保育対象児も、どんどん増えている状態です。そのため、現在の建物を全面的に移転改築し、定員を六十人から百人を増やして、より多くの幼児が保育を受けられるようにするものです。

建設場所は現在の施設より西側で、敷地面積は約六百四十四平方メートル。さらに、今年度中には、そのとなり東公園もつくられる予定です。公園が完成すると、屋外広場としても有効に活用できることとなります。

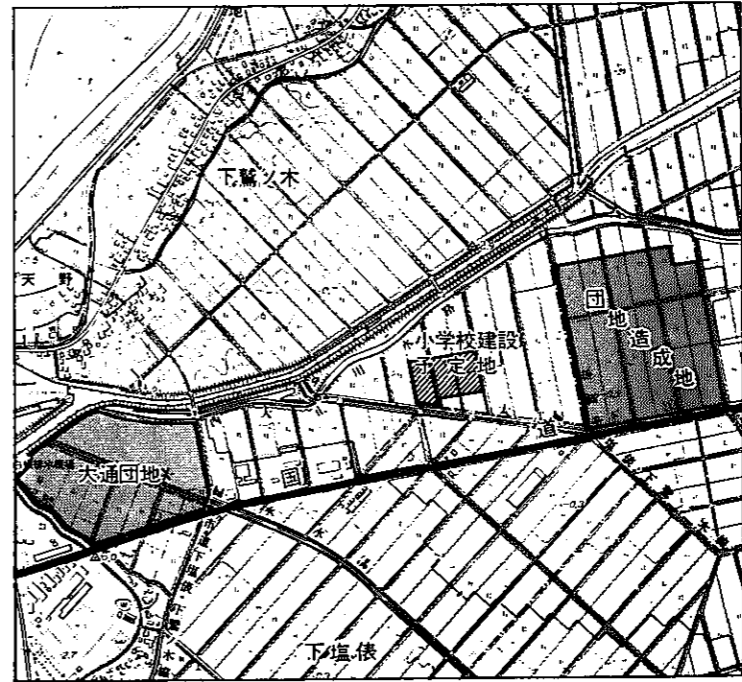


臨時市議会

市営住宅の建設など可決
さる、八月十一日開かれた臨時市議会で、古川保育園をはじめ、茨曾根地区公民館、市営住宅の建設。小学校用地の購入などが決められました。

今月号では、これらの事業を四ページにわたり、紹介いたします
議員定数を検討

特別委員会を設置
このほか今回の議会では『議員定数調査研究特別委員会』が設けられ、現在の議員定数三十人が妥当かどうか、検討することになりました。



開発の進む北部地域に 小学校の建設用地を購入

宅地開発の進む市内北部地域——中之口川、国道、大通川にはさまれた一面には、たくさん住宅や事業所などが建ち並び、今後も伸びようとしています。

人口流出のはじめと、新潟市のベッドタウンとして、私たちの期待をになつて大通団地が誕生したのは今から二年前。現在までに、五十八戸の住宅が建てられ、新しいまちづくりへの息吹が感じられます。

このほかにも、宅地造成が進められている区画もあり将来は、この辺一帯に九百戸くらいの住宅が建ち、児童数も三百から三百五十人ぐらになることが予測されます。

このようなことから市では、このほど小学校用地を購入——将来に備えるとともに、黒埼町との教育事務委託も解消する考えです。

場所は、図のとおりで大通団地の南。敷地面積は一万八千三百七十九平方メートルで、購入価格は約一億七千万円です。

学校規模としては六学級。最終的には十二学級程度の小学校を計画しています。

住みよらおちあひしんく